

中国経済展望

2011年7月



調査部 環太平洋戦略研究センター

<http://www.jri.co.jp/thinktank/research/>

- ◆本資料は2011年6月27日時点で利用可能な情報をもとに作成
- ◆本資料に関するご照会先
環太平洋戦略研究センター 関辰一 (Tel: 03-3288-4533)

中国経済概説（2011年7月）

1. 景気の現状

(1) 景気は拡大傾向

景気は、堅調に推移しているものの、拡大テンポがやや緩やかになった。

(2) 主要経済指標の動き

- ① 内需については、固定資産投資は旺盛な国内需要を背景に、多くの業種で高い伸び。一方、中央政府は金融危機後の景気回復を確認したうえで、景気過熱によるインフレを懸念し、公共投資や銀行融資を抑制。また、加工型産業に赤字拡大の兆し。小売売上高は比較的高い伸びを維持。
- ② 外需は高水準を維持。輸出は先進国の景気回復に加え、新興国の高い経済成長により堅調に拡大。
- ③ 工業生産は一部に減速の兆しが見られ、5月に前年同月比13.3%の伸び。伸び率は4月に比べて0.1ポイント低下。
- ④ 5月の消費者物価上昇率は前年同月比5.5%。上昇幅は4月から0.2ポイント拡大。a)名目賃金の上昇、b)潤沢な資金供給、c)天候不順、d)輸入価格の上昇が物価高をもたらす。5月の北京の住宅販売価格は前年同月比2.1%の上昇。上海は同1.4%の上昇。沿海部、内陸部とも上昇ペースがやや減速。

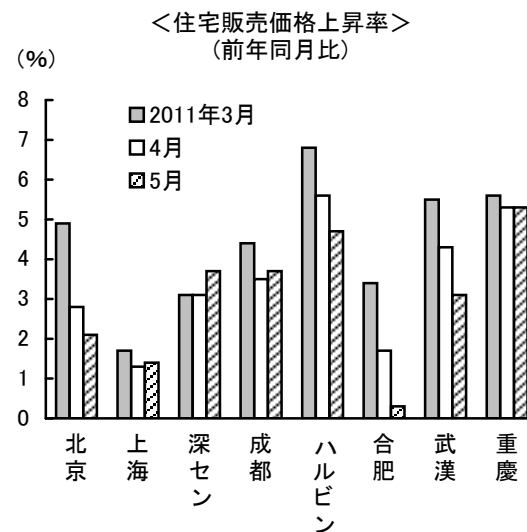
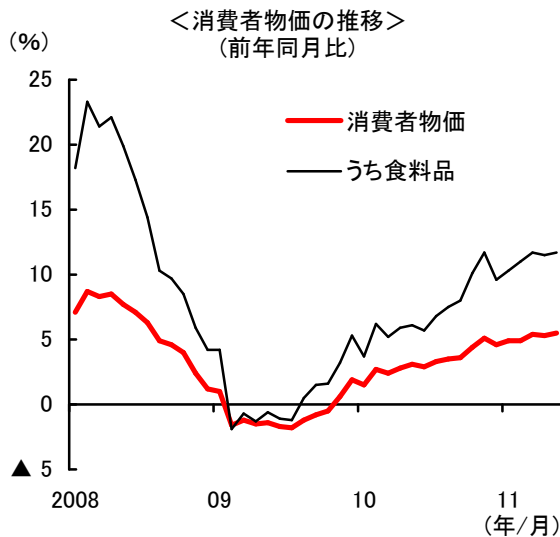
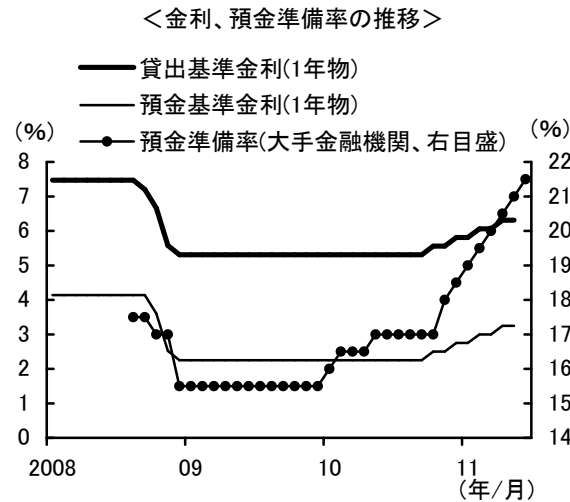
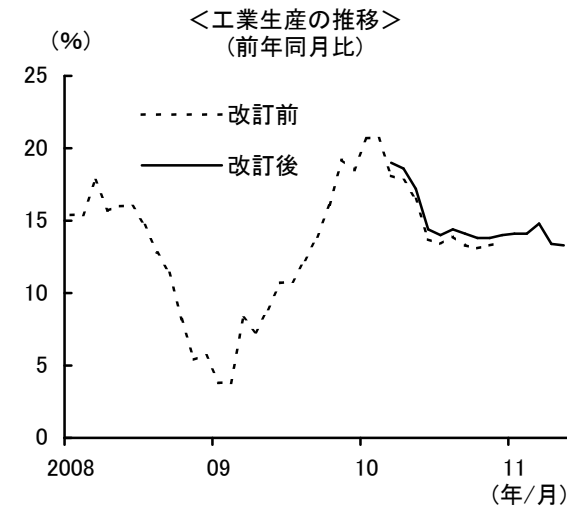
2. 最近の経済政策

(1) 低所得者向けの住宅供給を拡大(5/11公表)

国土資源部は5月11日に2011年の住宅用地供給計画と関連部門への要求を発表。住宅用地は前年供給実績比72.6%増とする計画。とりわけ、低所得者向けの保障性住宅の用地を同138.9%増に大幅に拡大。2011年に保障性住宅を1,000万戸供給するため。各地方の関連部門は責任者を明確にする。さらに、6月末までに具体策を報告する義務を負う。6月13日、北京は保障性住宅の建設を9月から全面的に開始すると発表。

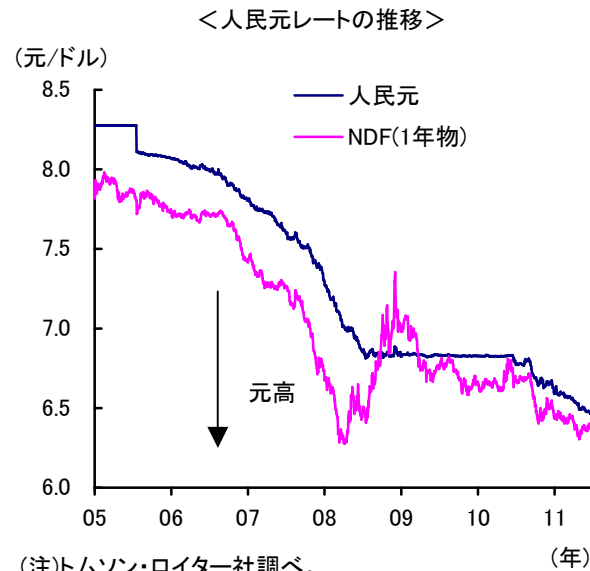
(2) 預金準備率の引き上げ(6/14公表)

人民銀行は6月14日に預金準備率の0.5ポイントの引き上げを発表。同月20日から実施。預金準備率の引き上げは2010年11月以来8カ月連続。

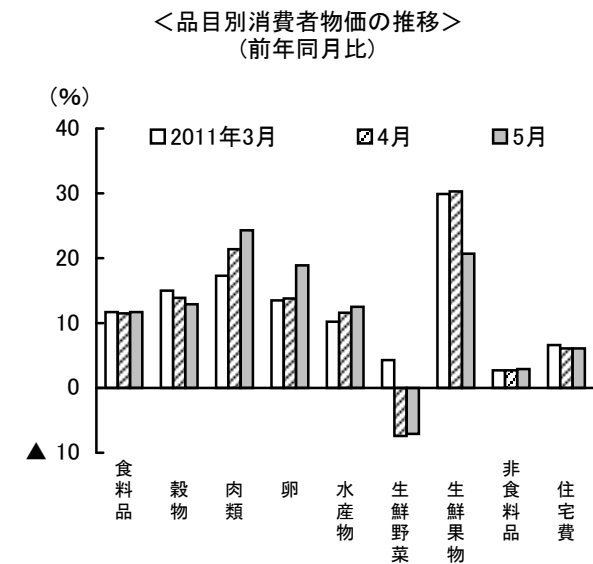




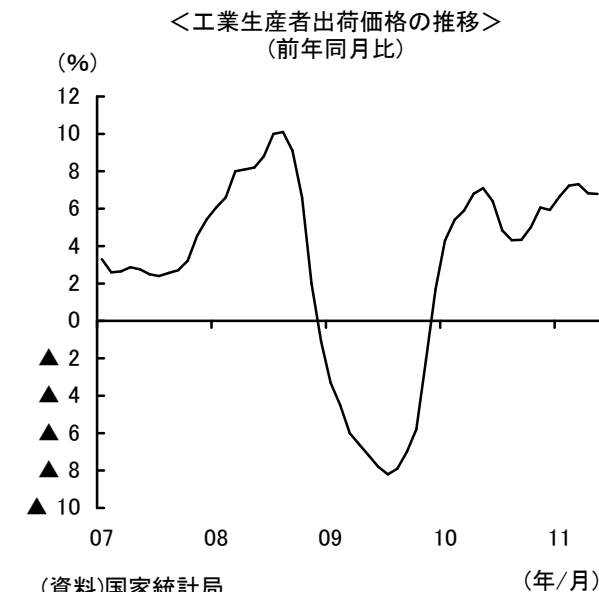
(資料)上海証券取引所



(注)トムソン・ロイター社調べ。
(資料)Datastream



(資料)国家統計局



(資料)国家統計局

3. 株価・為替レートの動き

(1) 上海総合株価指数

- ① 6月24日の上海総合株価指数(終値)は2,746ポイントと5月末から0.1%上昇。
- ② 6月入り直後は1日に発表されたPMIの低下に対する懸念があったものの、主要不動産企業の5月の販売好調が下支え、横ばいで推移。中旬に預金準備率の引き上げに伴い、下落。下旬に温家宝首相が物価上昇は抑制可能とコメントし、持ち直した。

(2) 対米ドルレート

- ① 6月24日時点で、1米ドル＝6.473元。5月末に対して0.1%人民元高の水準。
- ② 人民元高はa)対外購買力の向上、b)元売り・ドル買い介入の抑制により、インフレの緩和に機能。

4. 物価・金融

(1) 品目別消費者物価

- ① 5月の食料品価格は前年同月比11.7%と大幅に上昇。うちわけをみると、肉類(同24.3%)、卵(同18.9%)、水産物(同12.5%)、生鮮果物(同20.7%)と上昇。一方、生鮮野菜は供給増加により同▲7.1%。非食料品価格は同2.9%上昇。建設材料費や家賃、光熱・水道費を含む住宅費は同6.1%と大幅に上昇。
- ② 政府はa)流動性管理の強化、b)農産物・生活必需品・生産財の供給増加、c)農産物流通の優遇や国家備蓄の放出、d)違法な価格吊り上げ行為の取り締まり、e)低所得者に対するセーフティネット等保証制度の改善を推進。

(2) 工業生産者出荷価格

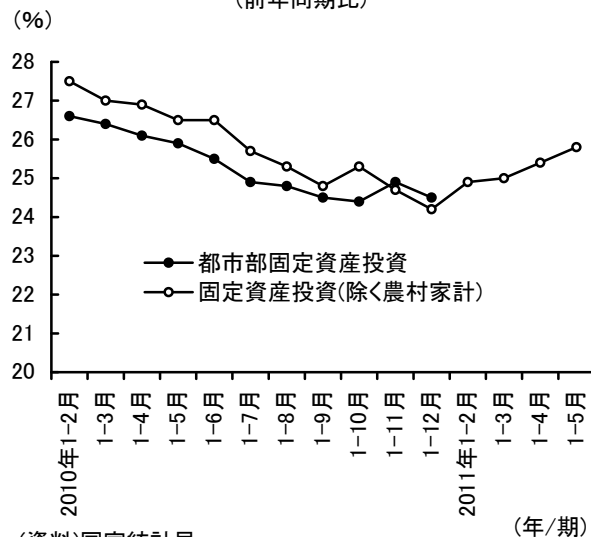
5月の工業生産者出荷価格は4月に続き前年同月比6.8%高。一方、過熱感が強い銅や石炭の卸売価格の上昇ペースは緩やかに。

(3) M2・銀行融資残高

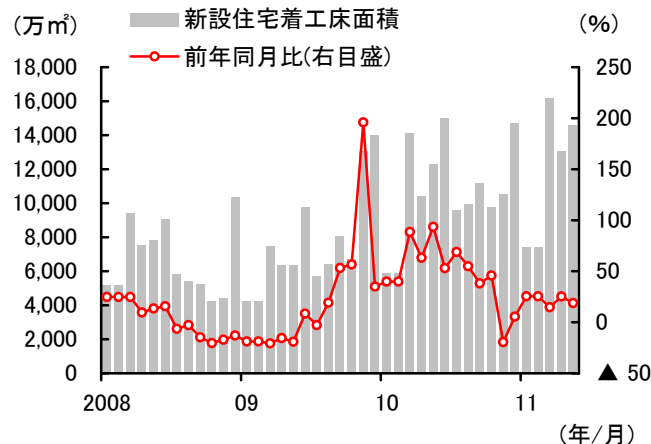
5月のM2は前年同月比15.1%増と4月の伸びを0.2ポイント下回った。

◆ 需要項目別：固定資産投資、個人消費

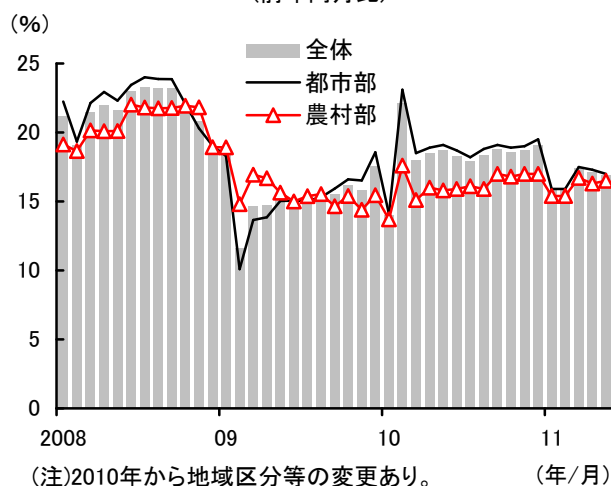
＜固定資産投資の推移＞
(前年同期比)



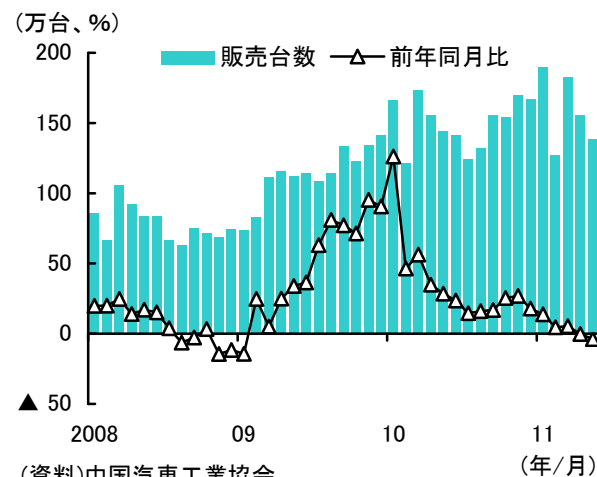
＜新設住宅着工面積の推移＞



＜小売売上高の推移＞
(前年同月比)



＜自動車販売台数の推移＞



【固定資産投資】

(1) 固定資産投資(除く農村家計)

① 2011年1～5月の固定資産投資(除く農村家計)は前年同期比25.8%増の9兆255億元。伸び率は1～4月の同25.4%増から上昇。(2011年3月から季節調整済み前月比を公表、5月は1.0%増)。

② 旺盛な国内需要を背景に、大半の業種で自己資金をもとに投資を拡大。1～4月の製造業の固定資産投資(除く農村家計)は前年同期比29.0%増。不動産業は同32.4%増。半面、治水・環境・公共施設管理業や高速道路など政府関連投資は全体を下回る伸び。

(2) 新設住宅着工面積

5月の新設住宅着工面積は前年同月比18.9%増。伸び率は4月の同25.3%から低下。利上げや一連の不動産価格抑制策により、住宅着工は金融危機前の拡大ペースに回帰。

【個人消費】

(1) 小売売上高

① 5月の小売売上高は前年同月比16.9%増と4月から0.2ポイント低下(季節調整済み前期比は1.3%増)。地域別にみると、都市部は同17.0%増、農村部は同16.5%増。

② 一定規模以上企業の小売売上高(全体の44%)は4月に前年同月比23.3%増。貴金属類同50.8%増、石油製品同39.1%増と高い伸び。

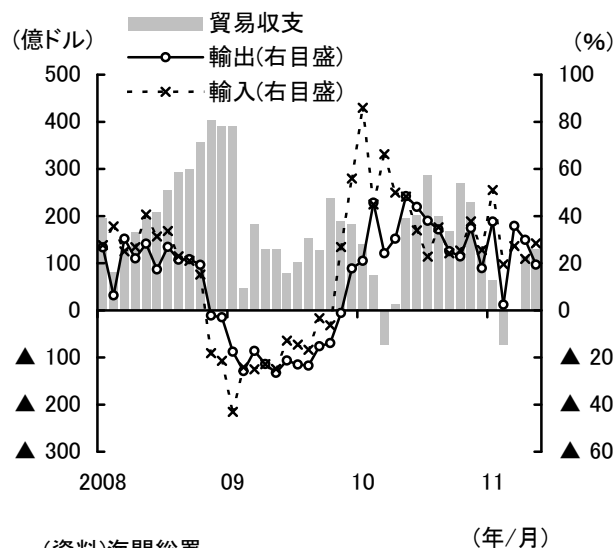
(2) 自動車販売

① 5月の自動車販売台数は前年同月比▲3.9%の138万台。うち乗用車は同▲0.1%の104万台。商用車(トラック・バス)は同▲14.0%の34万台。

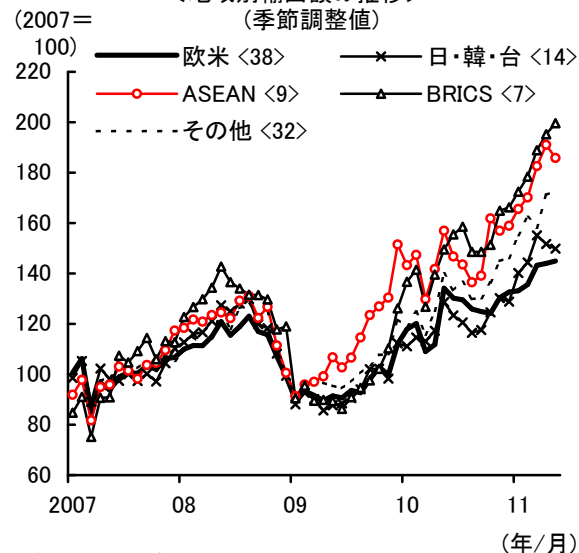
② 5月の一汽トヨタの乗用車販売(除くSUV、MPV、クロスオーバー型)は前年同月比▲74.3%。広州本田同▲20.7%と、2社は東日本大震災の影響により部品不足のため減少。一方、上海VW同22.2%、上海GM13.3%、一汽VW11.2%、北京現代1.4%と他の外資メーカーはいずれも増加。東風日産は部品不足の解消により同8.0%増。

◆ 需要項目別：輸出入、対中直接投資

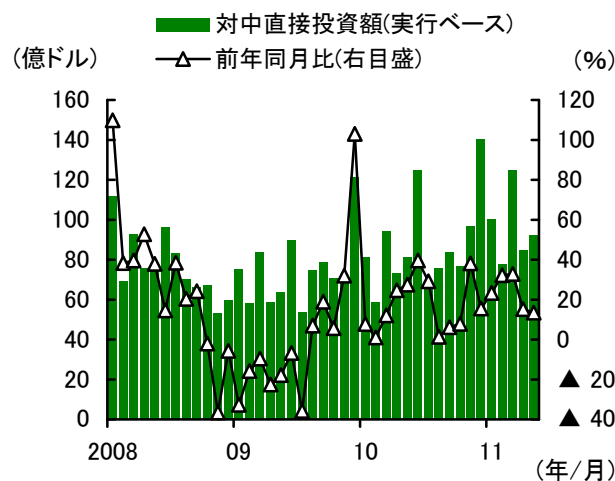
＜輸出入の伸び率(前年同月比)と貿易収支の推移＞



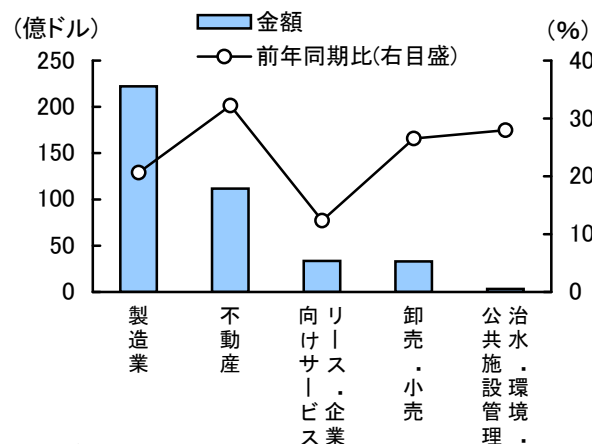
＜地域別輸出額の推移＞
(季節調整値)



＜対中直接投資額の推移＞



＜業種別外資導入額＞
(2011年1～5月)



【輸出・輸入】

(1) 輸出

- ① 5月の輸出は前年同月比19.4%増。伸び率は4月の同29.9%を下回った。
- ② 国・地域別にみると、5月の米国向けは前年同月比7.2%増。EU向けは同13.2%増。欧米の景気回復により、欧米向け輸出は緩やかに拡大。
- ③ 一方、5月のブラジル向けは前年同期比67.4%増と欧米向けを上回る伸び。ロシア向けも同44.2%増と高い伸び。新興国の高い経済成長と中国の高付加価値製品の競争力向上を背景に、新興国向けはハイペースで拡大。

(2) 輸入

- ① 5月の輸入は前年同月比28.4%増。伸び率は4月の同21.8%増を上回った。
- ② 国・地域別にみると、5月の日本からの輸入(最大の輸入相手)は東日本大震災の影響を受けて、同7.8%増と4月の4.6%増から低い伸びが続いた。
- ③ ブラジルからの輸入は同46.1%増と4月の同5.4%増から持ち直した。南アフリカからは同148.5%増と、伸び率は4月から29.8ポイント上昇。旺盛な国内需要を背景に資源国からの輸入が大幅に増加。

(3) 貿易収支

5月の貿易黒字は130億ドル。貿易黒字は3カ月連続。

【対中直接投資】

(1) 概況

5月の対中直接投資は前年同月比13.4%増。伸び率は4月の同15.2%増を下回った。

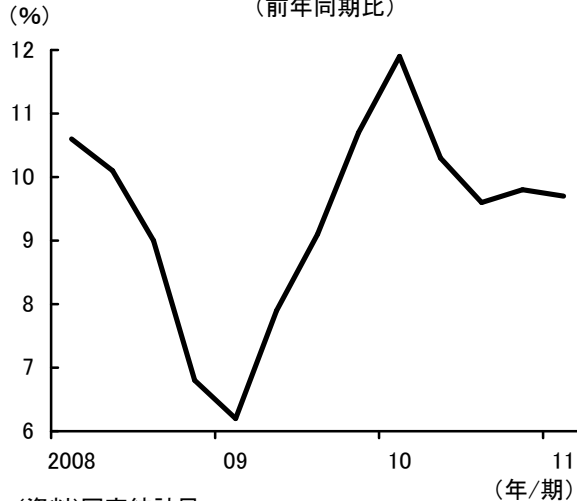
(2) 業種別投資額(2011年1～5月)

製造業は前年同期比20.6%増と2010年通年の同6.0%増を上回った。一方、不動産業は同32.2%増と2010年通年の同42.8%増を下回った。

トピックス

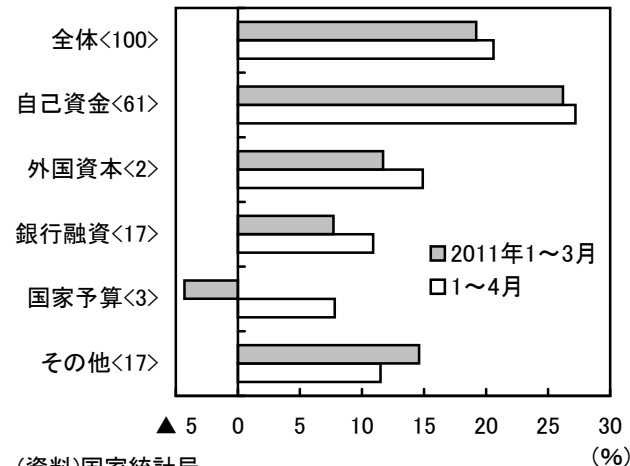
2011年の経済改訂見通し

＜実質GDP成長率の推移＞
(前年同期比)



(資料)国家統計局

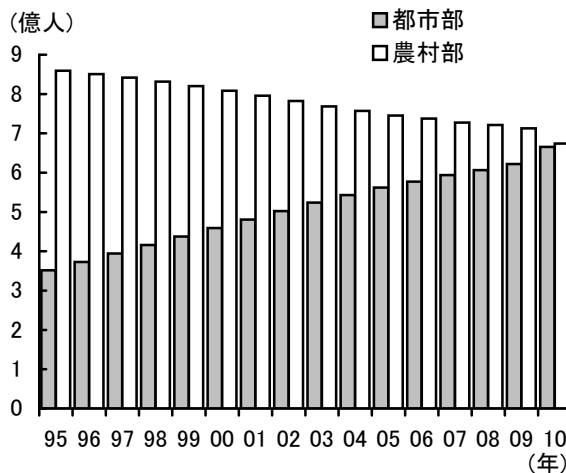
＜固定資産投資の資金調達原資＞
(除く農村家計、前年同期比)



(資料)国家統計局

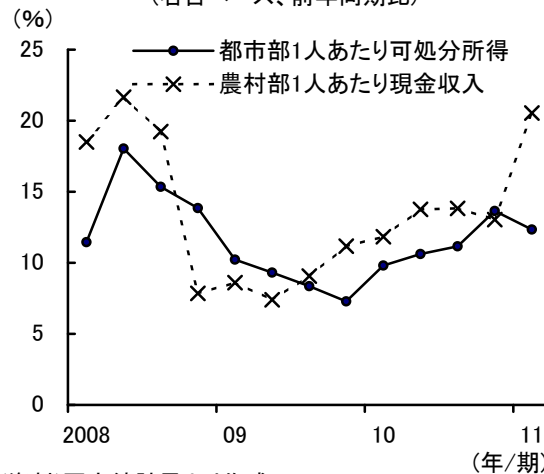
(注)△内は2011年1～3月期のシェア。

＜常住人口の推移＞



(資料)中国統計摘要2011

＜所得の動向＞
(名目ベース、前年同期比)



(資料)国家統計局より作成

中国経済はやや減速するものの、旺盛な内外需に支えられて2011年通年では9.4%と比較的高い成長率になるものと予想される。

(1) 外需は拡大ペースが鈍化するが、高い伸びを持続

① 欧米諸国に高い経済成長は期待できないものの、新興国向けは相手国の経済成長と中国の高付加価値製品の競争力向上により、ハイペースで拡大すると見込まれる。この結果、新興国向け・高付加価値製品中心の輸出構造が定着する見通し。

② 従来、中国の輸出は低付加価値製品、かつ、先進国向けが中心。しかし、最近はこの輸出構造が変化しつつある。中国の製造業は部品の国内調達拡大、製造技術の高度化などを通して、高付加価値製品の競争力を高め、新興国市場での足場を固めている。

(2) 内需の減速は限定的であり、堅調に拡大する見込み

① 自己資金と外国資本による投資についてみると、企業間競争の激化や都市化の進展により高い伸びを維持すると見込まれる。製造業では、設立10年に満たない中小企業が多数存在。自動車完成車メーカーは100社以上。これらの企業は国有企業や外資企業に追いつけ追い越せと規模拡大や生産性の向上をめざし、高い投資意欲を持つ。不動産業は都市部の人口増加と消費者の購買力の高まりを踏まえ、住宅供給を増やす見通し。

② 国家予算と銀行融資による投資についてみると、これまでは政府が景気過熱によるインフレを懸念し、4兆元の景気対策終了後公共投資や銀行融資を抑制。今後、景気が緩やかな減速にとどまった場合、こうした投資は低水準ながら一定の伸びを維持すると見込まれる。一方、景気が急速に悪化した場合、政府は再び開発プロジェクトの審査基準の緩和や金融緩和を通じて、てこ入れする公算大。

③ 個人消費も堅調に推移する見込み。企業間競争の激化により、各企業は人員の拡大に注力。労働市場の逼迫が続くことで、家計にとっては良好な雇用情勢が維持される。加えて、名目賃金は労働市場の逼迫と最低賃金の引き上げを背景に高い伸びを保つ見通し。雇用の安定と所得水準の上昇が引き続き消費拡大の原動力に。消費が大幅鈍化した場合、政策でてこ入れの可能性大。

		国民所得		生産・物価・労働			国際収支								金融・資本市場			
		名目GDP	実質GDP 成長率	工業生産 付加価値	消費者物 価指数	失業率	輸出		輸入		貿易収支	経常収支	対中直接 投資	外貨準備	為替レート	M2(期末)	銀行間貸 出金利	上海総合 株価指数
		億元	%	%	%	%	100万ドル	前年比 %	100万ドル	前年比 %	100万ドル	100万ドル	100万ドル	100万ドル	RMB/US\$	%	% (90日)	(期末値)
2008年		314,045	9.6		5.9	4.2	1,430,694	17.4	1,132,567	18.5	298,127	436,107	92,400	1,946,030	6.9480	17.8	4.30	1,821
2009年		340,903	9.2		-0.7	4.3	1,201,610	-16.0	1,005,922	-11.2	195,688	297,142	90,030	2,399,152	6.8310	27.6	1.73	3,277
2010年		397,983	10.3		3.3	4.1	1,577,978	31.3	1,394,501	38.6	183,477	331,000	105,735	2,847,338	6.7704	19.7	2.66	2,808
09年	4～6月	148,081	7.9		-1.1	4.3	276,080	-23.5	242,159	-20.2	33,921		21,232	2,131,606	6.8296	28.4	1.47	2,959
	7～9月	231,139	9.1		-1.1	4.3	324,919	-20.6	286,593	-11.6	38,326		20,757	2,272,595	6.8310	29.3	1.88	2,779
	10～12月	340,507	10.7		-0.7	4.3	355,041	0.1	293,888	22.7	61,153		26,268	2,399,152	6.8273	27.6	1.84	3,277
10年	1～3月	81,622	11.9		2.2	4.2	316,040	28.7	302,022	64.8	14,018	53,600	23,443	2,447,083	6.8269	22.5	2.03	3,109
	4～6月	172,840	10.3		2.6	4.2	388,869	40.9	347,806	43.6	41,063	72,900	27,987	2,454,274	6.8234	18.5	2.52	2,398
	7～9月	268,660	9.6		2.9	4.1	429,648	32.2	364,288	27.1	65,360	102,300	22,910	2,648,303	6.7713	19.0	2.60	2,656
	10～12月	397,983	9.8		3.3	4.1	443,421	24.9	380,385	29.4	63,036	102,200	31,395	2,847,338	6.6602	19.7	3.50	2,808
11年	1～3月	96,311	9.7	14.4	5.0	4.1	399,669	26.5	400,397	32.6	-728		30,340	3,044,674	6.5840	16.6	4.59	2,928
09年	4月				-1.5		91,923	-22.8	78,983	-22.9	12,940		5,892	2,008,879	6.8312	25.9	1.65	2,478
	5月				-1.4		88,699	-26.5	75,665	-24.9	13,034		6,379	2,089,490	6.8245	25.7	1.38	2,633
	6月				-1.7		95,458	-21.3	87,511	-12.9	7,947		8,961	2,131,606	6.8332	28.4	1.38	2,959
	7月				-1.8		105,391	-23.0	95,151	-14.6	10,240		5,359	2,174,617	6.8320	28.4	1.86	3,412
	8月				-1.2		103,663	-23.4	88,243	-16.8	15,420		7,499	2,210,826	6.8322	28.5	1.80	2,668
	9月				-0.8		115,865	-15.3	103,199	-3.4	12,666		7,899	2,272,595	6.8289	29.3	1.97	2,779
	10月				-0.5		110,642	-13.9	86,848	-6.4	23,794		7,105	2,328,272	6.8275	29.5	1.84	2,996
	11月				0.6		113,659	-1.2	94,691	26.8	18,968		7,023	2,388,788	6.8274	29.6	1.82	3,195
	12月				1.9		130,740	17.7	112,349	55.9	18,391		12,140	2,399,152	6.8271	27.6	1.86	3,277
10年	1月				1.5		109,495	21.0	95,513	85.9	13,982		8,129	2,415,221	6.8273	26.1	2.04	2,989
	2月				2.7		94,477	45.6	87,053	44.9	7,424		5,895	2,424,590	6.8270	25.5	2.01	3,052
	3月			19.0	2.4		112,068	24.2	119,456	66.3	-7,388		9,419	2,447,083	6.8264	22.5	2.05	3,109
	4月			18.6	2.8		119,854	30.4	118,429	49.9	1,425		7,346	2,490,511	6.8262	21.5	2.00	2,871
	5月			17.2	3.1		131,672	48.4	112,191	48.3	19,481		8,132	2,439,505	6.8274	21.0	2.06	2,592
	6月			14.4	2.9		137,343	43.9	117,186	33.9	20,157		12,509	2,454,274	6.8165	18.5	3.50	2,398
	7月			14.0	3.3		145,442	38.0	116,820	22.8	28,622		6,924	2,538,893	6.7775	17.6	2.65	2,638
	8月			14.4	3.5		139,254	34.3	119,301	35.2	19,953		7,602	2,547,837	6.7901	19.2	2.49	2,639
	9月			14.1	3.6		144,952	25.1	128,167	24.2	16,785		8,384	2,648,303	6.7462	19.0	2.65	2,656
	10月			13.8	4.4		135,963	22.9	108,880	25.4	27,083		7,663	2,760,899	6.6732	19.3	2.81	2,979
	11月			13.8	5.1		153,309	34.9	130,436	37.7	22,873		9,704	2,767,809	6.6558	19.5	3.22	2,820
	12月			14.0	4.6		154,149	17.9	141,069	25.6	13,080		14,028	2,847,338	6.6515	19.7	4.48	2,808
11年	1月			14.1	4.9		150,734	37.7	144,273	51.0	6,461		10,028	2,931,674	6.6027	17.2	4.84	2,791
	2月			14.1	4.9		96,736	2.4	104,064	19.4	-7,328		7,795	2,991,386	6.5831	15.7	4.84	2,905
	3月			14.8	5.4		152,199	35.8	152,060	27.3	139		12,517	3,044,674	6.5662	16.6	4.08	2,928
	4月			13.4	5.3		155,684	29.9	144,263	21.8	11,421		8,463		6.5299	15.3	4.08	2,912
	5月			13.3	5.5		157,157	19.4	144,111	28.4	13,046		9,225		6.4963	15.1	4.91	2,743

(注) ①名目GDP総額と消費者物価指数の四半期ベースは、1～3月期、1～6月期、1～9月期、1～12月期の数値。

②失業率と銀行間貸出金利以外の%は、前年同期比、前年同月比の伸び率。

③直接投資額は銀行・証券・保険業界への投資を除く。

④2011年以降、工業生産付加価値統計の対象が売上高500万元以上の企業から2,000万元以上の企業に変更。

(資料) 中国国家統計局、中国海関統計、中国人民銀行統計季報、中国経済景気月報他をもとに作成。